

9 非線形計画法 (I) : 制約のない問題の最適化法 / 補遺

今, 例題として次の2変数関数を考える.

$$f(x, y) = 3x^2 + 3y^2 + 2xy - 8x - 8y + 8$$

数学的準備

この勾配ベクトル $\nabla f(x, y)$ は次のようになる.

$$\nabla f(x, y) = \begin{pmatrix} \frac{\partial f}{\partial x} \\ \frac{\partial f}{\partial y} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 6x + 2y - 8 \\ 6y + 2x - 8 \end{pmatrix}$$

同様に Hesse 行列 $\nabla^2 f(x, y)$ を求めると,

$$\nabla^2 f(x, y) = \begin{pmatrix} \frac{\partial^2 f}{\partial x^2} & \frac{\partial^2 f}{\partial x \partial y} \\ \frac{\partial^2 f}{\partial y \partial x} & \frac{\partial^2 f}{\partial y^2} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 6 & 2 \\ 2 & 6 \end{pmatrix}$$

この Hesse 行列は, 0 ベクトルでない任意のベクトル $(x, y)^T$ に対して $(x + y)^2 + 4x^2 + 4y^2 > 0$ が成り立ち, 正定値行列である.

制約なし最適化問題

次に, 最適解の条件について確認してみる. 上記の $f(x, y)$ の最小値は解析的に $(1, 1)$ であることが分かっている. この解における勾配ベクトルの値は

$$\nabla f(1, 1) = \begin{pmatrix} 6 \cdot 1 + 2 \cdot 1 - 8 \\ 6 \cdot 1 + 2 \cdot 1 - 8 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}$$

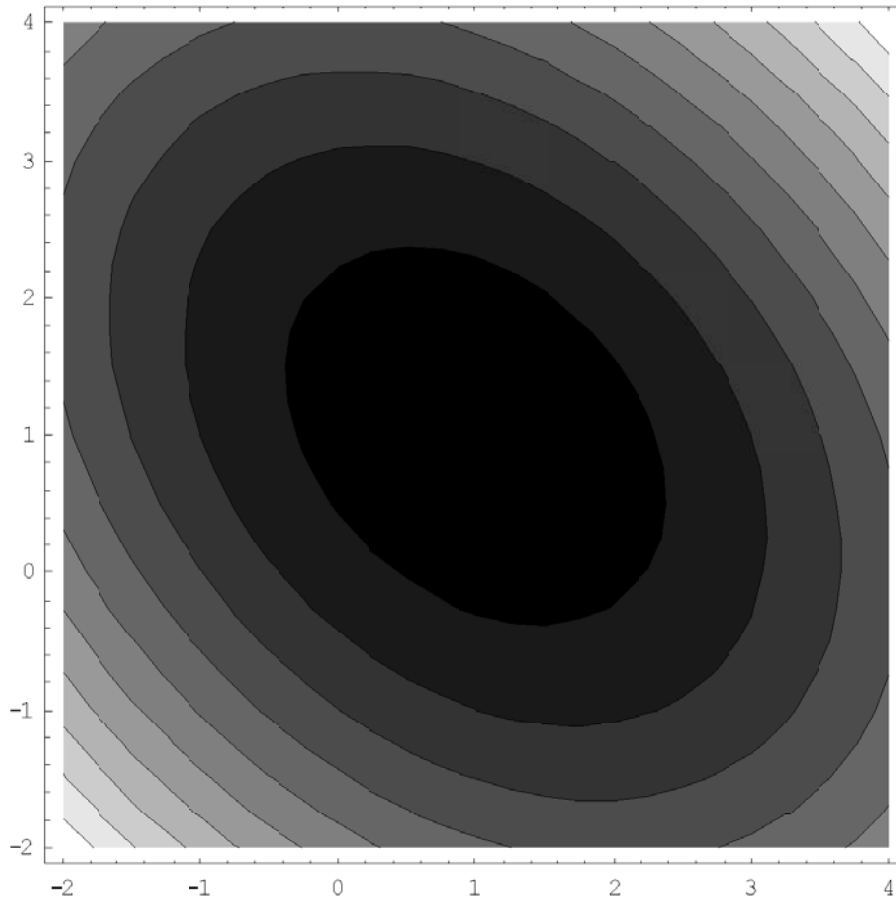
となることが確認できる.

最急降下法

$(1, 3)$ を初期解とすると, 最急降下の方向は $-\nabla f(1, 3) = -(4, 12)^T$ となる. この降下方向の方程式は $y = 3x$ となり, $f(x, y)$ に代入すると一変数関数の $f(x) = 36x^2 - 32x + 8$ となり, これの最小値は $f'(x) = 72x - 32 = 0$ の解で, $(x, y) = (4/9, 4/3)$. これを次の解として最急降下方向を求めると

$$-\nabla f\left(\frac{4}{9}, \frac{4}{3}\right) = - \begin{pmatrix} 6 \cdot \frac{4}{9} + 2 \cdot \frac{4}{3} - 8 \\ 6 \cdot \frac{4}{3} + 2 \cdot \frac{4}{9} - 8 \end{pmatrix} = - \begin{pmatrix} -\frac{8}{3} \\ \frac{8}{9} \end{pmatrix}$$

この降下方向は最初の降下方向と直交していることは, 内積をとってみるとわかる.



ニュートン法

初期解 $(1, 3)$ における Hesse 行列を作成してみると, Hesse 行列は定数の行列であり,

$$\nabla^2 f(x, y) = \begin{pmatrix} 6 & 2 \\ 2 & 6 \end{pmatrix}$$

である. これを用いて降下方向のベクトル $(d_x, d_y)^T$ は次の方程式の解となる.

$$\begin{pmatrix} 6 & 2 \\ 2 & 6 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} d_x \\ d_y \end{pmatrix} = - \begin{pmatrix} 4 \\ 12 \end{pmatrix}$$

この連立一次方程式を解くと $(d_x, d_y)^T = (0, -2)^T$ となり, 次の解は $(x, y)^T = (1 + 0, 3 - 2)^T = (1, 1)^T$ となる (最適解)

非厳密直線探索

直線探索においては通常, 厳密な解を求めることを行わず, 以下の Wolfe の条件を満足する α を見つけた段階で反復を停止する. ただし, $0 < \sigma_1 < \sigma_2 < 1$ とする.

$$f(\mathbf{x}_k + \alpha \mathbf{d}_k) - f(\mathbf{x}_k) \leq \sigma_1 \alpha (\nabla f(\mathbf{x}_k))^T \mathbf{d}_k$$

$$(\nabla f(\mathbf{x}_k + \alpha \mathbf{d}_k))^T \geq \sigma_2 (\nabla f(\mathbf{x}_k))^T \mathbf{d}_k$$